

2025年度上半期 株主・投資家との対話の実施状況について

2025年10月30日
東日本旅客鉄道株式会社

※下線:前回開示からの主な更新内容

実施内容

機関投資家・アナリスト向け

決算説明会 グループ経営ビジョン「勇翔2034」公表に伴う説明会 IR DAY
スモールミーティング 1on1ミーティング(海外投資家訪問、国内投資家訪問、個別取材)

個人向け

Web説明会 施設見学会 意見交換会 IRイベント出展

対応者

代表取締役社長・代表取締役副社長・社外取締役・常務執行役員・執行役員・部門長・
ユニットリーダー・マネージャー

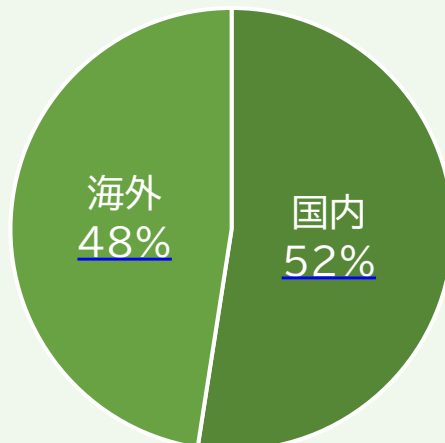
2025年度上半期

機関投資家・
アナリストとの
面談数

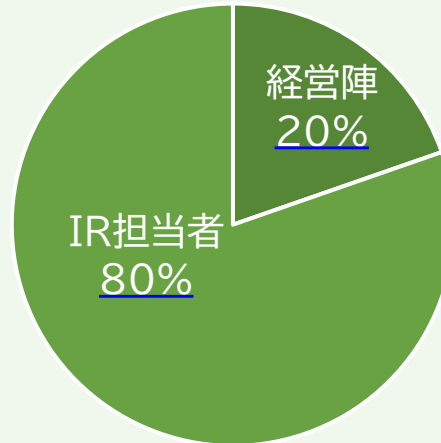
約300回

(前年同期比: +約90回)

国内／海外



経営陣／IR担当者



株主・投資家の主な関心事項

経営全般

- ・ グループ経営ビジョン「勇翔2034」で掲げた数値目標達成に向けた具体的な進め方
(既存事業の成長、M&Aや新規事業創造による非連続な成長)

モビリティ

- ・ 運賃・料金制度の見直し、運賃改定実施後の利益や投資の水準、2回目以降の運賃改定の可能性
- ・ 2031年度営業収益+2,000億円超(2024年度比)に向けた具体的な進め方
- ・ インバウンド需要の獲得、在来線グリーン車導入を含めた今後の増収施策
- ・ インフレによるコストの増加見通しと、鉄道事業の中期的な利益水準
- ・ 鉄道の安全性・サステナブルな事業運営

生活ソリューション

- ・ TAKANAWA GATEWAY CITY、OIMACHI TRACKSのリーシング状況と営業収益・利益見通し
- ・ 不動産回転型ビジネスの加速の見通しと今後のパイプラインの持続性
- ・ Suica Renaissanceにより実現する営業収益・利益見通し、施策実現までの時間軸

資本政策

- ・ 事業特性を踏まえた有利子負債水準、最適な資本構成の在り方
- ・ 配当性向40%実現に向けた時間軸、自己株式取得の考え方
- ・ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ESG

- ・ 株式報酬の導入に関する要望
- ・ 政策保有株式縮減の方針
- ・ JR東日本グループ全体のガバナンスの改善と強化、有識者委員会での議論の状況

社内へのフィードバック

対象	フィードバック状況
取締役会	定期的に担当役員から対話の状況をフィードバック
代表取締役社長を含む担当役員	対話担当部門から関心事項を随時報告
各業務部門	社内会議において担当役員から概況を説明
社員向け	対話担当部門から関心事項について説明会を定期的に開催

これまでの対話やフィードバックを踏まえて取り入れた事項

テーマ	取り入れた事項
資本コストや株価を意識した経営	・ <u>グループ経営ビジョン「勇翔2034」公表、KGIとしてROE目標を設定</u>
成長戦略の発信強化	・ <u>事業ごとの中長期戦略の発信(モビリティ中長期成長戦略「PRIDE & INTEGRITY」等)</u>
情報開示の拡充	・ <u>社会的価値の可視化・定量化(インパクト会計フレームワークの導入)</u> ・ <u>当社ウェブサイトのデザイン刷新や掲載情報の充実</u> (<u>新規ページの追加、サイト内の導線改良、英語サイトの情報量拡充等</u>)

2025年度 株主・投資家との対話拡充に向けて

対象	取組み
機関投資家・アナリスト	当社グループのビジネス戦略をご理解いただく機会を増やすため、IR DAYを年2回開催予定
個人株主	Web説明会や施設見学会等の実施回数増によるさらなる対話機会の拡充